

第4回 文芸研中・高部会オンライン学習会のお知らせ

次の一歩！！

1 日時 2月17日（金）20時～21時半

19時45分から開室予定。20時まではおしゃべりタイム。日頃の疑問や悩みなど交流いたしましょう。

2 教材 「夏の葬列」（山川方夫／教育出版中2）

3 前回は「レモン哀歌」を中心に学びを進めることができました。（わたし）という《視点人物》から《対象人物》（あなた）{途中で（智恵子）と呼称が変わります。}を語る意味。《矛盾》をはらんだ表現を駆使する意味。一連という詩の《構造》の意味。詩人高村光太郎の作り出した《美》の深く複雑な味わい。今までの自分の意味づけが覆されるような刺激的な時間でした。中学2年生には少し難しいのではという疑問も出ましたが、あっという間の1時間半でした。

今回は、同じく2年生の「夏の葬列」（山川方夫・教育出版中2）を扱います。「中学校の国語の中で一番忘れられない教材」と同僚の一人がつぶやいた作品です。必要ならば、教材文は送付いたします（光村図書など他の教科書には載っていません）。この作品を通し、今を生きる生徒達にどのようなことを学ばせたいかを考えていきたいと思えます。たくさんの皆様の参加をお待ちしております。

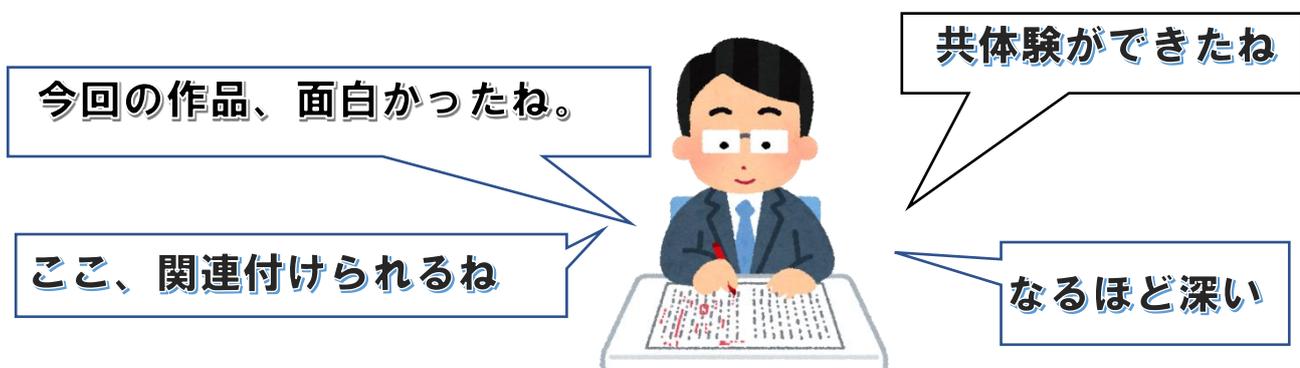
4 参加にあたって

☆前日までに、小松のメールまで申し込みをお願いいたします。当日のズーム・教材の資料を送付いたします。

☆今回参加費は無料です。ゆくゆくはズーム費用などに充填させていただくため、会費を徴収することも検討しています。

☆中学・高校の教員に限らず、小学校の先生方の参加もお待ちしています。

5 世話人：小松小百合（東京文芸研） メールアドレス waratte.everyday@gmail.com



次回、取り扱ってほしい教材も募集中です。中高の仲間を増やすため、サークルに参加の皆様やお知り合いの先生方にお声かけをよろしくお願いいたします。